

令和2年度第7回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会議事要旨

- 1 日 時 令和3年(2021年)1月18日(月)午後7時～午後8時45分
- 2 場 所 吹田市立南千里地区公民館(千里ニュータウンプラザ7階) 視聴覚室
- 3 欠 席 なし
- 4 議事録(概要)

【1番目 北山田育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

本日の委員の出席状況について、特別委員として評価対象となる育成室の保護者から代表し、2名の御出席をいただいておりますので、選定委員会規則の開会要件を満たしていることを報告します。

本委員会は、委託事業者を選定評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員のお名前は公表しないものといたします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開いたします。

それでは、今後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

本日の案件や資料について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

本日の案件は、委託事業者による育成室の実施状況の評価について御審議いただき、委員会としての客観的な評価を行っていただきます。

続きまして、お手元の本日の次第をご覧ください。案件1(1)各委員による評価について、各委員には事前の育成室見学及び事業者へのヒアリングを通して育成室の実施状況の評価を個別に行っていただいたところです。

本日の会議は、まずは、各委員の評価につきまして、御意見や御審議をお願いします。次に(2)委員会としての評価については、各委員による評価や本日の審議内容を踏まえまして、当委員会としての評価と答申の作成をお願いします。お手元に資料として、吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シートの結果をお配りしております。評価シートの結果につきましては、各委員に評価していただいた結果を事務局で集約したものです。なお、特別委員の2名につきましても事前に評価をいただいております。

資料の1ページの下の方に、AからGまで各委員の評価として、レーダーチャートのグラフにしてお示ししています。左上の大きなグラフは、7名の委員の評価を平均化したも

のです。右の表は、各委員の評価を点数化したものをお示ししています。評価の判定に際しては、この評価点の結果をもとに判定することとしています。また、事前に参考としてお渡ししています育成室運營業務委託事業者の業務実施状況の評価に関する要領において、評価の合計点数を18点以上つけられた委員は、現委託事業者に業務を継続させる随意契約を可と判定しているものとし、委員会としての判定は、各委員の判定の過半数により行うものとしています。但し、項目1「児童との関わりについて」において、委員の過半数から1以下の評価を受けている場合、また、項目2から9において、委員の過半数からゼロの評価を1項目でも受けている場合は、随意契約を可としないこととしています。

裏面2ページの評価項目以外の評価事項及びその他特記事項について、各委員が現地見学にて気が付かれたことやその他の御意見など、評価シートに記載いただいたものをお示ししています。この評価項目以外の評価事項において、事業者の判定に影響を及ぼす記述がある場合は、委員会の協議により、事業者の評価を判定することとしております。

(委員長)

事務局から資料の説明がありました。それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。まず、A委員から、項目9の法人の経営状況について講評をお願いします。

(A委員)

【法人の経営状況についての講評】

(委員長)

それでは、各委員から評価したポイントや改善点等につきまして、御意見をお願いします。

私も今日見学し、子供たちの信頼関係をととても大切にされて運営に当たっている様子、ものすごく前向きで熱心な姿から、子供との関わりであるとか保育内容等について、十分お聞きできたと思っています。委員の皆様には、忌憚のない御意見をお願いいたします。

(委員)

先生方は大変、子供目線に立って様々な取組をしたり、アレルギー児に対してとても丁寧に対応しており、クッキングの時などもアレルギーの子も食べられるようなものを用意するなど、とても子供のためにいろいろ考えて対応しています。保護者会役員ともお話をする時間を持ち、一緒に子供たちを見守っていくという姿勢が見受けられます。

(委員)

今のアレルギー対応について、私も現場を見せていただき、きっちりファイリングされていて、個人情報が出ないようにされているのは非常に高く評価できると思いました。

(委員)

委託になった最初の年というのは、手探りの状況もありますし、保護者の方も以前の体制というものをすごく気にしていたので、保護者との意見と少し足並みが揃わない状況

にあったというのは、他の保護者の方からいろいろな意見も聞いていました。ただ、個人的にはすごく先生が一人ひとり一生懸命子供たちのことを見ているというのは感じており、障がいを持った子供にはどう先生をつけるのかというのもすごく考えて、付き添いをされていたというのは感じました。

先生の入替わりも今年度は若干あり、若い先生もいますが、しっかりした方が多く、一緒に遊ぶ時も体力のある先生と一緒に遊ぶほうが子供たちも思い切り遊べるので、そういった意味ではすごくいいのかなと思いますし、ちょっとした細かい要望などもすぐ汲んで取り入れており、子供と一緒に着替えたくないといったことも、小さくても相談したら、すぐに少人数でとか目立たないようにという配慮をされています。

保護者との連携、学校との連携という面では、今年度コロナのこともあり、その間はメールなり、電話連絡なり、短時間であっても保護者会と先生との面談も1学期に必ず1回するようにということで、意見交換はされていました。

(委員)

確かに今言われたように、若い先生が多いですけど、皆さんともしっかりされて、質問したことに対してはすぐに答えられるというところにすごく好印象を受けました。

(委員)

見学の際、学習のことについて伺ったのですが、特に保護者の方のニーズが高いということで、まず、宿題をすることを、きっちりされておられるとおっしゃっていました。ただ、時間がずれたりしてなかなか集中できないということで、分けて取り組むというところは良いのかなと思いました。

学校、特に教頭先生と随時連絡を取られて、十分そこで機能はしているのだろうと思うのですが、より組織的にできればなお良いのかなと思いました。

(委員)

学校との連携は確かに難しく、学校側も忙しい、育成室も忙しいので、どう時間を見つけていくのか、これは今後の課題とは思いますが。

(委員)

私も今日見学し、特にコロナの1年でしたので、部屋の様子とアレルギーの関係で、どういうことをされているのかということを中心に聞き取りをしたのですが、アレルギーについては細やかに対応されているとか安全第一でされているとお伺いしました。

コロナの時に学校は休校となり、育成室は開室していたという話をしたとき、子供たちの不安とか気持ちに寄り添う姿勢でお話をされていました。子供たちの言葉の後ろにある気持ちを読み取ろうとか、伝えようというような発言が出ていましたので、子供たちに寄り添っておられる印象を受けました。

(委員長)

委員の方はいろいろ実際見られて、あるいは日頃から子供の様子、子供からの話も含めて感じられたことが今発言の中に出てきたのではないかと思います。

(事務局)

それでは各委員からの御意見をいただきましたので、次の案件である委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは、委員会としての評価を行います。評価シートにおきましては、すべての委員が実施状況を高く評価しておられ、法人の経営状況も問題ないと見ております。よって、当委員会としては、直営から引き継がれたことを忠実に履行することからスタートされたと思いますけども、今後はいかにいい意味での独自性というのを保護者の方とも手を携えながら作っていくかという課題はあろうかと思いますが、委託事業者による運営状況につきましては、契約書や仕様書の内容を高い水準で履行している、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われている、児童の健全育成に大きく貢献していると評価したいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、私の方で申し上げました点で、委員会の評価とさせていただきます。本日の意見を取りまとめたものを、答申案として作成いたしますけれども、私に一任をいただき、委員長の了承をもって決定とさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、そのように進めさせていただきます。最後に、その他の案件に移ります。

(事務局)

今後の予定として、答申を元に、今の委託事業者との来年度から5年間の随意契約を進める予定でございます。

(委員長)

以上をもちまして、北山田留守家庭児童育成室の審議を終了いたします。

【2番目 藤白台育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

委員会を再開します。

本日の委員の出席状況について、特別委員として評価対象となる育成室の保護者から代表し、2名の御出席いただいておりますので、委員全員に御出席いただいておりますので、委員会

規則の開会要件を満たしていることを報告させていただきます。

本委員会は、委託事業者を選定評価するという性質上、吹田市情報公開条例第 28 条第 2 号の規定に基づき、委員のお名前は公表しないものといたします。

また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開いたします。それでは、以後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

本日の案件、あるいは資料につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

本日の案件として、委託事業者による育成室の実施状況の評価について御審議いただき、委員会としての客観的な評価を行っていただきます。

【資料等の説明】

(委員長)

それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。

まずは、A 委員から、項目 9 の法人の経営状況について講評をお願いします。

(A 委員)

【法人の経営状況についての講評】

(委員長)

それでは、委員の皆様から評価をしたポイントや改善点等について、それぞれ御意見をお願いいたします。

今日見学させていただいて、藤白台育成室は、児童数も多いですし、校区的にも結構、南北に広がっているということで、子供の登室帰室、延長利用の子供の把握や管理という質問をさせていただいたのですが、非常にきめ細かく、しかも、みんなで情報を共有しながら、出欠等の確認をされて間違いのないようにしているということも確認し、非常にしっかりした体制を取られているという印象を強く受けました。

(委員)

私は子供がお世話になっており、普段から学校のクラスは授業があるから、勉強があるから行きたくないと言っても、学童は絶対行くというぐらい大好きで、ずっと今まで行かせてもらっているので、すごく先生方にはよくしていただいていると思っています。忘れ物をしたときでも、わざわざ電話をしていただき、すごくきめ細やかに、普段から接してくださっているのですごく感謝しています。

(委員)

子供が通わせていただいております、私の子もすごく学童が大好きで、仕事休みになり、私在家にいても学童に行きたいと言っているのです、すごく楽しんでます。去年、何度かお休みの連絡を入れているのに、来てないですということが何回かあったのですが、今年に

入ってそういったことが全くなくなったので、すごく改善していただいていると思いましたが、すごくありがたく、楽しく活動させてもらっています。

(委員)

今日見学させていただいて一番に思ったのは、登室される子供たちがしっかり挨拶してくれるのです。伸び伸びとされているというか、生き生きしていると感じました。部屋の方に行くと、写真が貼ってあり、普段の様子がよくわかるなど。これは保護者の方にとっても、今年はコロナでなかなか行事と一緒に参加できなかったと思うのですが、そういう工夫をされていると感じました。これからも、保護者の方と連携をとり合ったり、一緒に何かできるものがあれば考えたりしたいということも仰ってました。

(委員)

階段に貼ってある写真については、保護者の方とのすごく良いコミュニケーションツールになっていると思います。

(委員)

私も見学させていただいて、本当に子供たちが元気で伸び伸び頑張っているという姿をすごく感じました。お話をお伺いしましたら、やはり子供たちの主体性を伸ばすようにという取組をされていて、それも成果が現れつつあるということも感じました。特に学習面についても、登室したら、まず宿題をしていますということですが、それにとどまらず、自発的にあるいはもっとやりたいという声も子供たちから挙がっているというお話も伺って、素晴らしいなと感じました。

また、日々の細かいことだけではなくて、いろいろと課題になるようなことがあったとしても、担当の育成課や学校との連携や連絡等をしっかりしておられたので、その点でも安心できると感じました。

(委員)

私も今皆さんがおっしゃったように、子供たちがすごく落ち着いて、教室でも宿題等をされていますし、雰囲気的にすごく良いなということを感じました。コロナ禍で行事等が大変だったのではないかという質問をさせていただいたのですけれども、季節の餅つきなど保護者の参加ができなかったのも、記録として写真を育成室に貼りだしているという説明をいただきましたし、すごく素敵な取組をされているなど。やはり保護者との信頼関係、意思疎通がなかったら、子供を預けられないし、子供も楽しいというのが前提にあって、行っているのではないかなというのを感じました。

(委員)

訪問した時に主体性を育てるというのが、事業者が語っておられた中の一つのキーワードになっていて、しっかりした目標を持って、子供たちと向き合っているというのがすごく感じられて、それが評価シートの結果にも反映しているのかなと思います。

(事務局)

それでは各委員様から御意見をいただきましたので、次の案件である委員会としての

評価をお願いします。

(委員長)

それでは、委員会としての評価を行います。

評価シートにおきましては、全員が実施状況を高く評価しており、法人の経営状況も問題なしと見えています。当委員会としては、委託事業者による現状につきまして、契約書や仕様書の内容を高い水準で履行しており、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われ、「児童の健全育成に大きく貢献している」と評価したいと考えております。委員の皆様はいかがでしょう。

(異議なし)

(委員長)

異議なしということで、今私の方で申し上げたことを委員会の評価とさせていただきます。本日の意見の取りまとめたものを、答申案として作成をいたしますが、私に一任をいただきまして、委員長の下承をもって決定とさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

異議なしということで、そのようにさせていただきます。それでは、その他の案件について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の予定として、答申を元に、今の委託事業者との来年度から5年間の随意契約を進める予定です。

(委員長)

以上で、藤白台留守家庭児童育成室の審議を終了します。

【3番目 桃山台育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

それでは委員会を再開します。

本日の委員の出席状況について、特別委員とて評価対象となる育成室の保護者から代表し、2名の御出席をいただいておりますので、選定委員会規則の開会要件を満たしていることを報告いたします。

本委員会は、委託事業者を選定、評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員の名前は公表しないものといたします。また、委員会の議事

につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開いたします。

それでは、今後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

本日の案件や資料につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

本日の案件は、委託事業者による育成室の実施状況の評価について御審議をいただき、委員会としての客観的な評価を行なっていただきます。

【資料等の説明】

(委員長)

それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。

まずは、A委員から、項目9の法人の経営状況について、講評をお願いします。

(A委員)

【法人の経営状況についての講評】

(委員長)

それでは、各委員の方より評価したポイントや改善点等について、御意見を申し上げます。

今日見学させていただいて、今までのいわゆる育成室のイメージとは違う、良い意味で違う取組をされていて、初めは引き継がれたことからのスタートだと思うのですが、目的意識をはっきり持たれており、子供のためにという気持ちで取組を進められているというのは素晴らしいことだと思いますし、あそこに至るまでいろいろ保護者の方ともコミュニケーションがあつてのこととと思っています。委員の皆様の御意見はいかがですか。

(委員)

子供が入学する前に抱いていた学童のイメージは、ただ親の仕事を待つ間に宿題をさせてもらえる場所だと思っていたのですが、いざ活動が始まると、すごい先生方は明るくハキハキされていて、いろんなことにチャレンジされていることが伝わってきましたし、イベントなども内容が濃く、子供たちもすごく喜んでいきます。去年はコロナ禍で、学童も活動自体がとても大変な中、すごく工夫されながら、疲れも一切見せずに、保護者へも子供たちにも、インターネットを使って情報発信するなど、工夫していただいて、もう本当に感動しています。そんなことがなかったとしても、やっぱり素晴らしい場所ですし、これからも、先生たちと一緒に育って行って欲しいと思っています。

(委員)

情報発信の仕方では、YouTubeを使っておられるということで、やはり非常に効果があると私も思っています。新しい手法を取り入れるという前向きさは、すごく高く評価でき

と思っています。

(委員)

食物アレルギーがある子供に対しては、おやつ提供の際には毎回、おやつの一覧表と原材料を書いたものを毎週配付されており、保護者が家でチェックをし、実際におやつが現物が届いたときには、おやつ箱や袋のアレルギー表示も見せてもらって先生とダブルチェックをして提供していただいています。

先生方はエピペンを準備し、アナフィラキシーに対応できる体制をとっていただいています。これまで一度も誤食もなく、本当によく配慮してくださっていると思います。どうしても、卵と乳製品が食べられないので、みんなと同じおやつを食べることがなかなか難しく、食べられる種類もとても限られています。その中でも子供が食べられそうなものを毎回考えて、これだったら食べられると思うのですがという形で提供して下さるので、そういうあたりも細やかな配慮が感じられてとてもありがたいと思っています。

今年度、どうしてもコロナ禍で、保護者同士もまだ1回も顔を合わせたことがない状況で、おそらく来年度以降もこの状況が続くと思います。そうした中で、保護者と先生が意見を共有していく機会を持つことが、今後なかなか難しいと思いますので、今とても良くなって下さってありがたく思っているのですが、今後も何かそういう意見交流の在り方を考えていただければ良いかなと思います。

桃山台育成室は、とても人数が多く、その中で場所も限られているし、子供同士の関わりもとても工夫していろいろやってくださっていますが、人数の多さゆえにみんなで何か一つのことをするとか、異年齢の子供と協力して何か一つのことに取り組もうという機会が持ちにくいように思うというのも、保護者アンケート等から聞いていて、その辺りも今後工夫されていけたらいいのかなと思います。

(委員)

おやつ提供の仕方も、本当に子供が自分で選んで、おやつ時間を迎えるみたいな、そんなやり方自体はすごく工夫されているし、何よりアレルギー対応については、カラー刷りの資料で間違いがないよう工夫も非常にされているので、地に足がついた取組といったものを感じることができました。今、課題も少しおっしゃっていただいたので、そういったことも踏まえて、またこれからも取り組んでいただけたらと私も思います。

(委員)

何よりも指導員の先生方が、すごく密にミーティングとか、子供の対応をされているなということで、それこそホワイトボードの使い方であったり、各部屋にマイクで知らせたり、本当にきめ細やかな対応をされていました。

おやつのアレルギー対応でもダブルチェック以上のことをされて、お皿から何から見せていただき、名前までしっかり書いてらっしゃって、主任指導員からはものすごく熱意を感じました。子供のために何かしたいという感じが本当に伝わってきました。ただ、先

程の委員がおっしゃったように、1年生から4年生までの異年齢の活動、お兄ちゃん、お姉ちゃんの態度を見て低学年を成長させていくところが課題ということその指導員の方もおっしゃっていましたが、独自の取組というのがすごく素晴らしいと感じました。

(委員)

今後、その保護者の御意見をどう独自の取組につないでいくかというのが、大きな課題になろうかなと思います。

(委員)

今日見学させていただいて、様々な活動をされていますし、部屋などもいろいろな工夫をされて、楽しい環境の中で活動ができており、素晴らしいと感じました。

子供の人数も多いのですが、その名前を、指導員や関わる方がみんな覚えておられるということもおっしゃっていましたが、そういうことも、やっぱり子供たちを大切にされているなということを感じました。学習面では、強制的に宿題をさせるということはありませんけれども、1日保育の時は1時間、延長の時は30分、また学習について保護者の方と連携をして、相談をされたりしたときには子供たちにもそういう働きかけをしているということで、子供たちの状況に応じて取り組んでおられることも感じました。

また、いろいろな課題が生じたときでも、学校等とも連携をとって対応されているということもお伺いしました。この感想の中に、保育料を上げてもいいから指導員の給料を上げてほしいというような声があって、それくらい頑張っておられることを保護者の方も認めてくださっているのだなということを感じました。

(委員)

評価シートの中にも「学習活動について」という項目があり、この学習活動のイメージが変わりましたね。今までは宿題をサポートするという、育成室のイメージだったのですが、英語活動があったり、ものづくり体験があったり、ものづくりもそれに応じて1週間は作りかけでもリセットされないとか、いろんな工夫をされていて子供の意欲を引き出して、こういった学習活動の取組というのを大事にしていけないと思いました。

(委員)

一人ひとりのニーズとか、一人ひとりの放課後を大事にしようと思うと大変なのではないかと思うのですが、そこはチームワークを持ってされているというところに、こういうことができるのだというイメージを持ちました。遊びの中でも、自分がこだわったことと、ずっと将棋をやっているとか、学校が終わった後、放課後という自由な時間がある。その放課後という時間を作らせるというか自分たちで考えてやれるようにという思いをすごく感じました。だからこれをやるために学校が終わったら、学童へ行くのだとか、先程のものづくりにしても、毎日片付けて帰るのではなくて、今週これをつくり上げるのだという、子供たちが目標を持ってそこに来ることができる場という形で運営をされて

いると思います。

それをできるための工夫もすごくあって、遊びの部屋に青コーナーと赤コーナーと黄色コーナーで分かれており、一番奥があまりバタバタしたら駄目な遊び、ドミノ倒しとかを一番奥でさせている。子供の出入りがあるような少し動いても大丈夫な遊びを手前に持ってきているなど、ただ単に分けたり、子供に好きなコーナーを作ってやるように言ったりするだけではなく、子供が達成感を感じられるような仕掛けをすごく考えられていると感じました。

それから外国語活動が昨年度から小学校も全部、各種指導要領が変わって必修になって、3、4年生、5、6年生という形になるのですが、吹田市は1年生から英語活動をやっている、千里みらい夢学園の桃山台小学校は、もっと昔から1年生からずっと外国語活動をされています。活動のビデオを見せてもらいましたが、子供たちも全く臆せず活動していました。事業者が雇用している先生を連れてきていておっしゃっていましたが、事業者として持っているノウハウをいろいろなところでも使われており、努力というかアイディアの多さが良いと思いました。

また、保護者と一緒に取り組むイベントやみんなで取り組めるものを考えられたら良いなということをおっしゃっていましたが、そういうところも次の目標にしてもらえたらと思いました。

(事務局)

それでは、各委員から御意見をいただきましたので、次の案件である委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは、委員会としての評価を行います。評価シートにおきましては、全委員が実施状況を高く評価しており、法人の経営状況も問題ないと見ております。

よって当委員会としては、御意見の中にありましたように、今後の課題としては、異年齢の問題や保護者アンケートにあるように、人数が非常に多く、今後出てくる問題点等々、それをいかに桃山台育成室ならではの特色ある取組の中に取り込んでいけるのか、それを定着させていけるのかということがあるとは思いますが、委託事業者による現状の運営状況については、契約書や仕様書の内容を高い水準で履行しており、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われています。そして「児童の健全育成に大きく貢献している」と評価をしたいと考えていますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

異議なしということで、私の方でお話させていただいた評価を委員会の評価とさせていただきます。本日の意見を取りまとめたものを答申案として作成いたしますが、私に

一任をいただき、委員長の了承をもって決定とさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

異議なしということで、そのように進めていきます。それでは、その他の案件について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の予定として、答申を元に、今の委託事業者との来年度から5年間の随意契約を進める予定でございます。

(委員長)

以上をもちまして、桃山台留守家庭児童育成室の審議を終了します。

【4番目 佐井寺育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

それでは、委員会を再開します。

本日の委員の出席状況について、特別委員として評価対象となる育成室の保護者から代表し、2名の御出席をいただいておりますので、選定委員会規則の開会要件を満たしていることを報告いたします。

本委員会は、委託事業者を選定評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員の名前は公表しないものといたします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市のホームページで公開いたします。それでは、以後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

それでは、本日の案件や資料について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

本日の案件は委託事業者による、育成室の実施状況の評価について御審議をいただき、委員会としての客観的な評価を行っていただきます。

【資料等の説明】

(委員長)

それでは、各委員による評価についての審議を行います。

まずは、A委員から、項目9の法人の経営状況について、講評をお願いいたします。

(A委員)

【法人の経営状況についての講評】

(委員長)

続きまして、委員会としての評価を行います。各委員から評価したポイントや改善点等について、御意見ををお願いします。

私も今日見学させていただき、かなり保護者の方と連携をとりながら、佐井寺ならではの育成室というのを作っているかとされている、もちろんスタートは引継ぎがベースになって、そこからだとは思いますが、かなり子供の事をよく見ておられて、写真展をしておられるなど、いろいろ保護者のニーズをかなり把握されて、進めておられるとお見受けをしました。委員の皆様、御意見ををお願いします。

(委員)

今年から連絡帳に、毎日ではないですが、今日子供が「こんなことをしていました」、「こういうふうなことを楽しんでいました」というコメントをいただくようになり、不思議に思っていたのですが、いただいた資料の保護者アンケートの中に、もう少し連絡帳に子供の様子を書いてくれると嬉しいというコメントに対して、速やかにしっかり対応していただけたのだということを感じたり、保育園から小学校に入った時、こんなにおやつがボリュームアップするのだと思っていたりして、ありがたいなと思っていたのですが、先月のおたよりに小さいミニホットドッグみたいなものが載っていて、温めて出してくれていることも、「袋菓子をなるべく減らすようにしてください」、「チョコレートばかりでちょっと子供が困っています」というコメントに対して、しっかり対応を考えてくださっているとすごく感じています。若い先生が多いですが、保護者の意見に対してどう対応したら満足していただけるかということをしごく考えてくださっていると感じています。

(委員)

私は、直営から委託する際にも佐井寺育成室でお世話になっており、ちょうど引継ぎというところも拝見させていただきましたが、早めに引継ぎに入り、子供たちの様子をすごくよく見ていただいて、保護者にも不安のないようにという感じの引継ぎが行われていたと思います。若い先生が多いというので少し不安な保護者の方もいたようですが、けがのときや体調が悪いときに、こういうことがありましたと、こまめに連絡帳を書いていたこともよくあり、電話をいただいたこともあります。

私は毎日延長の利用もあるので、お迎えに行った時にコミュニケーションがとりやすいのですが、毎月の懇談会がなくなって、コミュニケーションの取れない保護者も多くなったので、連絡帳を活用していただいたことで、すごく不安の解消に繋がったと思います。

おたよりで子供たちの写真を載せていただき、こんなことをしていますとか、絵を書くことが好きな子たちは塗り絵のコンテストをしていただいたり、コマ回し、昔ながらの遊びを取り入れたり、そういうこともすごくたくさん取り組んでいるのでありがたく思っています。運動の得意な子とか、いろいろな子がいるので、いろいろな子が得意なところ

を伸ばせるような対応をしていただいていると思います。

今の事業者になってすごく嬉しかったことは、母の日や父の日に親の絵を描いて、子供たちのメッセージ付きで親が受け取れるような形のプレゼントや、勤労感謝の日は「いつも頑張ってお仕事してくれてありがとう」というコメント付きの絵をいただいたことです。子供が描いてくれた絵ですが、すごく嬉しかったです。

保護者同士のコミュニケーションも、先生を介して行ってくれているのが、すごくありがたく思っており、とても満足しています。

(委員)

確かに若い先生が多いと思いますが、すごくしっかりされているという印象でした。こちらから聞いたことも、すごく的確にお答えいただいて、おそらく保護者との関係も同じだと思いますが、アンケートでの保護者意見を横に置いておくのではなくて、すぐさま対応する姿勢が見られました。

(委員)

いろいろお話を伺う中で、非常に誠実に取り組んでおられるとすごく感じました。特に学習面について聞かせていただいたのですが、もちろん宿題の時間もとっているのですが、そのほかに読書であるとか、チャレンジプリントを用意して、その採点もしたり、さらにドリルの教材を用意されたりというような学習面で様々なことを取り組んでおられるとすごく感じました。学校との連携は、基本的には、教頭先生と主任指導員が密接に連絡をとられているので、基本的なところは大丈夫なのだろうと思うのですが、より組織的に連携できればと思いますが、今お話をお伺いしている中で、保護者の方の意見などを取り入れて、すぐに改善されているので、そういうふうにしていただけたらと思います。逆に、学校側のほうが、なかなか対応が難しいこともあるかと思いますが、そういう点も今後もきっと、より良い形で運営を続けていかれるのだろうということはすごく感じました。

(委員)

延長利用の子供たちがすごく落ち着いているというのを感じました。騒いでいるのではなく、先程も宿題の件を言われましたが、きちんと宿題はこちら、読書はこちらというように部屋割り等もされていますから、子供たちは、今勉強をしているということがわかりやすく良いと思いました。

(委員)

今年のコロナの状況で、学校も休校になって子供たちの不安、保護者の方も不安だったと思うのですが、その辺のところも含めて、今年の運営について聞いてみました。保護者の方と一緒に何かしたりする機会が減ったというのは残念がっていましたが、またこれから機会を増やしていただけるような感じでしたけれども、子供たちが不安にならないようにということで、先程おっしゃっていたコンテストなどを増やして、子供たちが楽しみを持てるように配慮もされていたり、子供たちの中から過去にあったこれをもう1

回やりたいとか、次はこういうのがやりたいみたいな、子供たちの気持ちも大事にしながら楽しみを増やしているということで、すごく子供の成長に寄り添って育てていらっしゃる気がしました。

また、去年は運動会に合わせて写真等も貼り出していたそうで、今年は運動会ができな
い中でも、いろいろと工夫をしながらやりたいという思いも伝わってきました。

(事務局)

各委員からの御意見をいただきましたので、委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは、委員会としての評価を行います。評価シートにおきましては、全委員が実施
状況を高く評価しています。

法人の経営状況も問題ないものと見ております。当委員会の評価としては、委託事業者
の運営状況について、契約書や仕様書の運用を高い水準で履行している。事業目的を踏ま
えた保育や運営が良好に行われていると考えています。そして「児童の健全育成に大きく
貢献している」と捉えておりますので、そのように評価をしたいと考えています。委員の
皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

異議なしということで、私から今申し上げましたことを委員会の評価とさせていただきます。
さらに、本日の意見を取りまとめたものを答申案として作成いたしますが、私に
一任いただき、委員長の了承をもって決定とさせていただいてよろしいですか。

(異議なし)

(委員長)

異議なしということで、そのように進めさせていただきます。それでは、最後にその他
の案件について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の予定として、答申を元に今の委託事業者と来年度から5年間の随意契約を進め
る予定です。

(委員長)

以上をもちまして、佐井寺留守家庭児童育成室の審議を終了します。また、第7回吹田
市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会を終了します。